

第368回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 2020年5月25日(月)
- 2 開催場所 リモート開催
- 3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
野内 隆裕	委員	本宮 宏美	委員

レポートでのご意見

大久保 千春 委員 柳川 かおり 委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
取締役放送本部長兼編成局長	稲田 裕之
取締役報道制作局長	寺内 邦彦
報道制作局制作部長	竹野 和治
番組プロデューサー	芝 至
事務局	安部 貴俊 小野塚由起子
	吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「桜 SOS ～フードバンクと令和の貧困～」

[放送：2020年5月6日(水)10：25-11：25]

(説明：番組プロデューサー 芝 至)

2) 会社報告

①2019年度下期放送番組種別報告 (報告：番組審議会事務局)

②2020年度4月期基本番組種別報告 (報告：番組審議会事務局)

③4月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

④講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「この番組は、貧困家庭を支援している“フードバンクしばた”の活動を通して、見えにくくなった現代の貧困に迫る番組です。昨年ニュースの特集でフードバンクの活動について放送しましたが、県内、新発田でも貧困に苦しむ多くの家庭があることに驚き、現代の貧困というものに問題意識を持ちました。番組を制作するにあたり、フードバンクの支援を受けている家庭にアンケートを実施した際、多くの家庭では、進学、進級がある“春”に追い詰められている現状があることが分かりました。番組は問題が浮かび上がる“春”に焦点を当て、飽食日本のもう一つの姿を見つめ、番組を通して何か感じてもらえればいいなという思いで制作した」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- タイトルから受ける印象よりも重く、強く印象の残る番組だった。
- 貧困がすぐ隣あったことを初めて実感できた。
- “フードバンクしばた”の方の話す言葉に説得力があった。
- タイトルも語りも音楽も良かった。
- 「フードバンク事業」とはどういったものか、もっと説明が欲しかった。
- 新潟県内の他の支援団体の情報があってもよかったのでは。
- 利用者側の目線での番組制作に驚きがあった。
- 身近な問題に迫るよいいりポートだと思った。
- 視聴者の心に訴える番組だと思った。
- 見えにくい、言い出しにくいことに手を差し伸べることの大事さというテーマにぐっと入ってくる番組だと思った。
- アンケートを読むナレーションが演技かかっていた印象を受け先入観をもった作り方に疑問を感じた。
- 問題の本質を伝え、強いメッセージを伝えた番組だった。
- “春”を取り上げた着眼点がよかった。
- アンケート全体をグラフ等にするなど見やすくしてほしかった。
- “桜”は一言でいうと教育だと思う。次の貧困から脱却するには教育の責任は大きいと思う。インパクトのある番組だった。
- 一つひとつ丁寧に取材していた。
- 最後のナレーション、音楽には違和感があった。きれいに終わらせなくても良いのではと思った。
- 複数の家族を取り上げたことで説得力が増したのか、焦点がぼやけたのか気になった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

4月…… 176件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(2020年4月28日)から、昨日(2020年5月24日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第367回審議会では、

「Jリーガーとして生きる

～早川史哉、白血病からの復帰そして未来へ～」

を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第368回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 第 367 回番組審議会議事録
- ・ 4 月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 2019 年 10 月～2020 年 3 月番組種別放送時間集計表
- ・ 2020 年 4 月期基本番組種別放送時間集計表
- ・ 2020 年 4 月期基本番組表
- ・ 民間放送新聞（5/13 号）
- ・ BPO 冊子（NO, 212）

以上